

令和6年度事業報告書

6年度事業のポイント

➤ 初めての常勤の理事長（代表理事）誕生

令和元年以来6年ぶりに代表者が変更となった。

今回の代表者変更では、昭和53年4月の財団設立以来6代に亘り非常勤となっていた理事長職が初めて常勤専従となり、意思決定の効率化や、従業員と接する機会が増加することによるエンゲージメントの向上などのプラス効果をもたらした。

➤ 緑化普及啓発事業の拡充

令和6年3月に発刊した「あまがさき薔薇マップ」を記念し、春バラの開花期にあたる5月に市内7カ所のバラ園をめぐってクイズに答える「もじあつめスタンプラリー」を実施した。

また、緑の相談所や展示施設において、子ども達に遊びながら自然や植物とのふれあいを体験してもらうお祭り行事の開催や、子どもに人気の「食虫植物」に焦点を当て、常設展示や観察会と緑の相談所だよりの年間特集を組み合わせる多彩な魅力発信を行うなどの新企画を展開した。

更には、ファミリー世帯を対象にした体験型教室として好評の「みどりの学校」の新たなメニューとして、科学的要素を取り入れた「植物サイエンス」を加えるなど、緑化普及啓発事業の一層の充実を図った。



➤ 組織エンゲージメント向上の取組

従業員の満足度を把握するためのアンケート調査や、担当業務等に関する自己申告と人事面談を新たに導入するなど、当協会を継続して強い組織にしていくことを目的とした、組織エンゲージメントの向上に注力した。



【事業活動部門】

◆ 公益目的事業

I 公益1事業〔定款事業(1)〕

（緑化普及啓発フィールド公園などを活用した普及啓発、利用促進並びに都市環境緑化の推進事業）

《管理施設》

- ・緑化普及啓発フィールド公園

名 称	フィールドの特徴
上坂部西公園 (尼崎市都市緑化植物園)	都市緑化植物園；花と緑の学習空間
元浜緑地	キッズランド；子ども達の遊びと学び
大井戸公園	ローズガーデン；バラを通じてのボランティア活動空間
近松公園	日本庭園風公園；植物と文化の歴史空間
宮内公園	梅と茶室のある公園；観梅茶会
祇園橋緑地	緑の散歩道
蓬川緑地バラ園	川岸のバラ園

- ・その他の公園緑地

名 称	フィールドの特徴
西武庫公園	サクラ、分区園、利用団体のネットワーク
県立尼崎の森中央緑地	参画と協働による生物多様性の森づくり

1 緑の相談所及び緑化普及啓発フィールド公園事業

(1) フィールド公園の魅力向上の取り組み

① 自然を活用した事業

フィールド公園内の花や生物などの自然とふれあう催しを実施し、市民の方々に公園へ足を運んでいただいて、花と緑がもたらす効用や、生物多様性を考える機会を創出した。

- ・フィールド公園内の自然を活用した事業一覧表

開催日	事業名	開催場所	参加者数	内 容
4月6日	森の工作会	上坂部西公園	60名	園内を歩きながら、植物で草木あそび
4月27日	季節の花散策～アヤメ～	近松公園	35名	園内を散策しながらアヤメの話と観察
5月12日	季節の花散策～バラ～	大井戸公園	40名	解説を聞きながらバラ園を散策
6月16日	季節の花散策～アジサイ～	元浜緑地	41名	見ごろのアジサイをガイド付きで見学
6月22日	植物園ガイド	上坂部西公園	21名	園内の見ごろの植物の案内
6月29日	園内の川で生きもの探し	上坂部西公園	57名	身近な川の魚や昆虫などを捕まえて観察
7月21日	セミ羽化観察会	上坂部西公園	58名	セミが羽化する神秘的な場面を観察
10月12日	植物園ガイド	上坂部西公園	13名	園内の見ごろの植物の案内

開催日	事業名	開催場所	参加者数	内 容
12 月 15 日	冬の昆虫観察会	上坂部西公園	20 名	ゴマダラチョウの幼虫を見つけよう
1 月 19 日	バラを育てよう	上坂部西公園	15 名	バラ園でのバラの栽培方法の解説と実技講習
2 月 16 日	季節の花散策～梅花～	宮内公園	43 名	園内を散策しながらウメの話と観察
2 月 22 日	植物園ガイド	上坂部西公園	10 名	園内の見ごろの植物の案内（雨天のため座学）
合 計		12 回開催	413 名	



（上坂部西公園での植物園ガイド）



（大井戸公園でのバラ散策）



（元浜緑地でのアジサイ散策）

② “みどりの学校” 開校

見

日頃、緑に関わる機会が比較的少ない若い世代に、緑にふれあうきっかけづくりの場を提供する「みどりの学校」を小学校の夏休み期間を中心に年間を通じて開校した。この教室は、ファミリー世帯の親子を対象に、尼崎のみどりを体験できる内容のもので、自然とのふれあいや植物を育てる楽しさを伝える講座に加えて、新たに科学実験的な要素を取り入れた「植物サイエンス」を開催し、夏休みの宿題にも活用できる実益を兼ねた学習の場を提供した。

・子ども向け体験教室（みどりの学校）（受託事業）の開催状況

開催日	事業名	開催場所	回数	参加者数
4 月 6 日	森の工作会（再掲）	上坂部西公園	1 回	60 名
5 月 19 日	あまーいミニトマト作り	上坂部西公園	1 回	19 名
6 月 29 日	園内の川で生きもの探し（再掲）	上坂部西公園	1 回	57 名
7 月 20 日	天然素材で蚊取り線香づくり	上坂部西公園	1 回	19 名
7 月 21 日	セミ羽化観察会（再掲）	上坂部西公園	1 回	58 名
8 月 10 日	植物サイエンス①～顕微鏡を手作りして気孔を観察しよう～	上坂部西公園	2 回	38 名
8 月 18 日	植物サイエンス②～植物が太陽光を使ってでんぷんを作るのを確かめてみよう～	上坂部西公園	1 回	24 名
9 月 1 日	食虫植物	上坂部西公園	1 回	27 名
10 月 27 日	ミツバチとはちみつを知ろう	上坂部西公園	1 回	21 名
11 月 10 日	親と子の植物画教室	上坂部西公園	1 回	14 名
12 月 15 日	冬の昆虫観察会～ゴマダラチョウの幼虫を見つけよう～（再掲）	上坂部西公園	1 回	20 名
合 計			12 回	357 名



(川で生きもの探し)



(セミ羽化観察会)



(植物サイエンス)

③ “草木遊び塾” 開校

「草木遊び塾」は、木の枝やどんぐりの実などを使って自由な発想で工作を行う体験型の講座で、気候の良い時季に子どもたちに緑や自然とふれあえる場を提供することを目的として、ファミリー世帯の親子を対象に、上坂部西公園において開催をした。



(草木遊び塾の様子)

・草木遊び塾の参加者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	—	72	48	33	—	—	54	30	—	—	—	54	291

④ “絶滅危惧植物” の保護

上坂部西公園では、これまで、植物園の使命である絶滅危惧植物の保護のため、市内の水路で保護した兵庫県絶滅危惧種Aランクのシダ植物「デンジソウ」、小笠原諸島のみに自生する国指定の絶滅危惧類「オガサワラグワ」、絶滅危惧2類の「リュウケツジュ（竜血樹）」、武庫川河川敷で見つかった兵庫県絶滅危惧種Bランク「カワラサイコ」などの譲渡を受けて、保護の取り組みを行っている。

当園では、これらの他にもヒメバラモミやジュラシックツリー、ジャカラнда、サボテン類など約75種の国内外の絶滅危惧植物を保存、展示しており、日本植物園協会加盟園として絶滅危惧植物の保有状況調査及びリスト作成や「絶滅のおそれのある野生植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」に抵触する植物の保管を行うなど、植物多様性保全に重点を置いた取り組みを行っている。



(カワラサイコ)



(ジャカラнда)



(リュウケツジュ)

⑤ SDG s 地域ポイント制度への協賛

尼崎市が実施する「SDG s 地域ポイント制度」に協賛し、公園での除草作業など当協会が指定するボランティア活動や講習会の参加者に、継続特典チケットとあま咲きコイン（SDG s ポイント）を付与するとともに、継続特典チケットの景品として「花とみどりのギフト券」と引き換えるサービスを提供した。

(2) ボランティアとの協働の取り組み

市民等が主体となって進めるみどりの活動を推進するため、本年度も、上坂部西公園をはじめとする緑化普及啓発フィールドの基幹公園で立ち上げた公園ボランティアグループと共に、市民協働の公園運営に取り組んだ。

① グリーンヘルパーとの協働の取り組み

花と緑に関する学習や研究に取り組む市民ボランティアグループ「尼崎市都市緑化植物園グリーンヘルパー」の皆さんが、当協会との連携のもと、上坂部西公園を拠点に月2回の定例活動などを実施した。

- ・登録人数 20 名
- ・定例活動日 毎月第2・4土曜日（定例日以外にも日常的に作業を多数実施）
- ・活動内容 本年度も、公園内の一部の花壇の植替えや管理、植物園ガイドなどの活動に取り組んだ他、兵庫県が小学3年生を対象に実施する環境体験学習にサポーターとして登録し、13校31クラス989人の生徒を受け入れて上坂部西公園の植物観察会を行うなど、工夫を凝らした質の高い活動を実施した。



（樹木スタンプラリー）



（小学生対象の環境体験学習）

② ローズAMA（大井戸公園）とのバラ栽培管理の取り組み

大井戸公園において、バラを美しく咲かせるための栽培管理のボランティア活動を実施した。たくさんのバラが咲き誇る当公園のバラ管理に欠かせないグループとして、大変手間が掛かるバラ管理作業に活発に取り組んだ。

- ・登録人数 30 名
- ・定例活動日 毎月第 1 木曜日
(上記以外にも日常的に作業を実施)
- ・活動内容 花がら摘み、除草、施肥など季節に応じたバラの栽培管理作業を実施した。



(ローズAMAの作業風景)

③ 近松公園アヤメクラブのアヤメ園整備の取り組み

アヤメ園の除草や枯れた花の刈り取り、アヤメの補植等を行って景観を整えるなど、各種整備に取り組んだ。

- ・登録人数 8 名
- ・定例活動日 毎月第 2 水曜日
- ・活動内容 除草や施肥、薬剤散布、株分け等の管理作業を実施した。



(アヤメクラブの活動の様子)

④ 元浜緑地アジサイクラブの株数増加などの取り組み

踏圧などで衰退していたもみじ池周辺のアジサイを再生させるため、挿し木したものを育成して植え付け、花数の増加に取り組んだほか、除草や清掃など、幅広い活動を実施した。

- ・登録人数 6 名
- ・定例活動日 毎月第 2 木曜日
- ・活動内容 アジサイ園の落ち葉清掃、除草、灌水、剪定などの維持管理作業、挿し木や補植などの増殖作業等を実施した。



(アジサイクラブの活動の様子)

⑤ ローズAMA（潮江公園）とのバラ栽培管理の取り組み

潮江公園のバラ栽培管理ボランティアグループで、たくさんのバラが咲き誇る当公園のバラ管理に欠かせないグループとして、大変手間が掛かるバラ管理作業に活発に取り組んだ。

- ・登録人数 14 名
- ・定例活動日 毎月第 3 木曜日
- ・活動内容 花がら摘み、除草、施肥など季節に応じたバラの栽培管理作業を実施した。



(ローズAMAの作業風景)

(3) 仕事体験等の受け入れ

兵庫県が中学２年生を対象に職場体験として実施している「トライやるウィーク」の他、生活困窮者等就労準備支援としての職業体験などを上坂部西公園で受け入れ、緑化普及の立場からの社会貢献事業に取り組んだ。

事業名称	回数等	受入人数
中学生のトライやるウィーク	４校	８人
生活困窮者等職業体験	８１回	１人
合 計		９人

(4) 講習会事業

① 上坂部西公園緑の相談所での一般講習会

緑の相談所において、クリスマスローズなど人気の植物の育て方や、しめ縄やおひな様フラワーアレンジメントなどの季節の装飾品づくり等、幅広いテーマの講習を開催した。

開催日	講習会名	参加者	内容
６月１６日	ハーブや葉脈標本を使った石鹸作り	１５名	植物園のハーブを使った石鹸作り
１０月１１日	クリスマスローズの育て方（自主）	１５名	クリスマスローズの植え替えと株分け
１２月８日	クリスマスリース作り	１３名	木の実やコニファーを使ったクリスマスリース
１２月２２日	しめ縄作り（２回）	３７名	藁を編んでオリジナルのしめ縄作り
１月１９日	バラを育てよう	１５名	冬の剪定実習など栽培方法を学ぶ
２月２２日	おひな様フラワーアレンジメント	１５名	フラワーアレンジメント
３月１日	クリスマスローズの育て方	２４名	花の解説と栽培ポイント、植付け実習など
合 計		１３４名	



（クリスマスローズの育て方）



（クリスマスリース作り）



（おひな様フラワーアレンジメント）

② 「世界の植物と暮らしシリーズ」講習会

植物に関する学びの観点に「国際交流・理解」を加えた講習会「世界の植物と暮らし」シリーズを、緑の相談所に加えて生涯学習プラザにも出向き計7回開催したほか、より多くの市民に緑に関心を持ってもらうため、尼崎市が主催する学びの祭典「みんなのサマーセミナー」においても当該シリーズのエッセンスを詰め込んだ出張講習を開催した。



(R7. 3. 17 付読売新聞に掲載)

・「世界の植物と暮らしシリーズ」講習会の開催状況

開催日	国名	講師名	開催場所	参加者数	内 容
4月21日	イギリス	ジェームズ・ライブニック	上坂部西公園 緑の相談所	23名	イギリスの庭園事情やアフタヌーンティーの体験など
7月28日	ベトナム	グエン・パオチヤン	中央北生涯 学習プラザ	16名	植物や文化の紹介とベトナム料理の生春巻き作り
10月26日	アメリカ	ベン・ヘンリー	上坂部西公園 緑の相談所	20名	オレゴン州のポートランドに焦点を当てて、そのユニークで先進的な都市計画や街の魅力の紹介とクラフトビールの試飲
11月17日	ミャンマー	スミヤツワイ	上坂部西公園 緑の相談所	18名	植物や文化の紹介とミャンマーの伝統料理の試食
12月15日	タイ	中島ネティカン	園田東生涯 学習プラザ	13名	タイの植物や文化の話と、タイカレー作り
2月2日	オーストラリア	景観デザイナー デビッド・ヘイ	上坂部西公園 緑の相談所	19名	オーストラリアとzoomで繋ぎ植物や文化などを紹介
3月16日	ポーランド	坂口アンジェリカ	大庄北生涯 学習プラザ	16名	ポーランドの植物や文化の紹介と、家庭料理であるボルシチ作り
合 計			7回開催	125名	



(イギリス編)



(アメリカ編)



(ポーランド編)

・みんなのサマーセミナーでの出張講習会(世界の植物と暮らし)の開催状況

開催日	事業名	開催場所	参加者数
8月4日	みんなのサマーセミナー	園田女子学園	15名



③ 伝統園芸植物管理講習会

菊花や阜月、小品盆栽等伝統的な園芸植物を保存・継承するため、その管理方法を学ぶ教室を、年間を通して開催した。

講習会名 / 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
														回数	人数
菊作り		11	8	11	—	—	10	—	—	—	—	—	—	4	40
洋ラン		16	19	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	49
阜月盆栽		13	9	9	9	—	7	9	10	11	8	11	11	11	107
小品盆栽		20	18	18	17	15	14	15	19	20	15	15	16	12	202
計	回 数	4	4	4	2	1	3	2	2	2	2	2	2	30	—
	人 数	60	54	52	26	15	31	24	29	31	23	26	27	—	398



(菊作り講習会)



(阜月盆栽講習会)



(小品盆栽講習会)

④ 植物園ガイド

上坂部西公園（尼崎市都市緑化植物園）内の、見頃の植物などを、公園ボランティアグリーンヘルパーの皆さんが案内役を務めて紹介する、植物園ガイドを開催した。

講習会名 / 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
														回数	人数
上坂部西公園		—	—	21	—	—	—	13	—	—	—	10	—	3	44



(植物園ガイド)

⑤ ガーデニング体験講座

園芸初心者向けに、公園内の花壇の一面で草花の植栽を行い、その後のボランティア活動への参画などを促す体験型の講座を実施した。

講習会名 / 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
														回数	人数
上坂部西公園		—	12	—	—	—	7	—	—	14	—	—	—	3	33
西武庫公園		—	9	—	6	—	6	—	—	—	—	—	—	3	21



(上坂部西公園での講習の様子)



(西武庫公園での講習の様子)

⑥ 依頼講習会

各種団体等からの依頼を受けて行う依頼講習会を、緑の相談所において開催した。

・依頼講習会の開催状況

講習会名 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
													回数	人数
阪神シニアカレッジ	—	—	—	—	—	—	40	15	—	—	—	—	2	55
NPO 法人アルファグリーンネット	—	—	—	—	—	—	—	30	—	—	—	—	1	30
コミュニティールーム武庫運営委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	11	—	—	—	1	11
計	回 数	—	—	—	—	—	1	2	1	—	—	—	4	—
	人 数	—	—	—	—	—	40	45	11	—	—	—	—	96

(5) 展示会事業



花や緑に関連する各種展示会については、温室では育成・展示している貴重な植物を活かした企画展示を行い、展示施設（みどりのみゅーじあむ）では市民団体等の発表の場として展示を行うなど、施設の特徴に応じて使い分けをした。また市から指定されている展示会に加えて協会職員自らが企画した展示会も多数実施し、特に温室では、本年度の緑の相談所だよりの特集にあわせて、ウツボカズラやモウセンゴケなどの「食虫植物」の常設展示を行った。

その他の取組みとして、展示会の充実のために、展示内容に合わせたイベントや、時季に合わせたイベント等も開催し、多彩な内容で、花・緑の素晴らしさを広く発信した。

・展示会（温室）の開催状況

展 示 会 名	開催期間	場 所	内 容	来場数
ベゴニア展	4/22～5/12	温 室	色とりどり、様々なタイプのベゴニアを約 200 鉢展示	3,693 人
延べ開催日数 21 日 来場数 3,693 人				



(ベゴニア展)

・展示会（展示施設）の開催状況

展 示 会 名	開催期間	内 容	来場数
いろどりマルシェ	4/12～4/13	「あまさまマルシェ」などで活躍する若いママが中心のアーティスト達の作品展示会	308 人
小品盆栽と山野草展	4/19～4/21	尼崎小品盆栽山草会会員が育てた風情あふれる小品盆栽や山野草を展示	320 人
2023 あまがさきフラワー ガーデニングコンテスト 入賞花壇写真展&家中緑 自慢写真展	4/29～5/8	・フラワーガーデニングコンテストの各部門の入賞花壇の写真 ・家中緑自慢に応募した方の写真展	1,340 人
花でつながる作品展	5/10～5/12	花をテーマにした、短歌・ブリザードフラワー・タ イルアート・百人一首書などの作品を展示	386 人
みどりとやきもの展	5/17～5/20	「やきもの」に植物を添えた作品を展示	378 人
アートフラワー展	6/14～6/23	布やワイヤーを使って本物同様の造花を展示	739 人
手作りフェア展	7/6～7/7	ちぎり絵・絵手紙・サッシュェなど様々なジャン ルの花の展示	219 人
部屋を彩る植物展 2024	7/12～7/14	ガラス容器の中にコケや観葉植物を植え付け て楽しむ展示	217 人
やまとうた Logos 展 Fly me to the moon 動植物に捧る展Ⅱ	7/26～7/28	「月」をテーマにしたパネル展示	378 人
甲山ガラス工房受講 生作品 花を楽しむ ガラス展	8/2～8/4	日本の植物分類学の父とされる牧野富太郎に 関する展示	389 人
みどりの学校おさらい 自由研究のヒント！展	8/16～8/25	今年に開催したみどりの学校の復習や夏休みの 自由研究のヒントを展示	791 人
地球環境世界児童画 コンテスト作品展	8/30～9/8	環境をテーマにした児童絵画コンクールの受 賞作品を展示	487 人
武庫川髭の渡しコス モス園フォトコンテ スト受賞作品展	9/10～9/17	武庫川髭の渡しコスモス園の写真を使ったフ ォトコンテストの受賞作品を展示	621 人
公園ボランティア紹 介WEEk	9/22～10/1	公園ボランティアの様々な活動を紹介・展示	733 人
秋の游鉢展	10/4～10/6	ヤシガラ繊維を使った手作りの鉢に秋の植物 を植え込んだ作品を展示	150 人
秋季さつき樹形展	10/18～10/20	尼崎皐月協会会員が育てた皐月盆栽を展示	198 人
小品盆栽と山野草展	10/25～10/27	尼崎小品盆栽山草会会員が育てた風情あふれる 小品盆栽や山野草を展示	383 人
みどりとやきもの展	11/15～11/18	「やきもの」に植物を添えた作品を展示	279 人
つなぐ森展	11/23～11/30	地域子ども達とのワークショップでの作品 の展示	784 人
秋の洋ラン展	12/6～12/8	尼崎洋ラン会会員が育てた洋ランを展示	315 人
お正月を飾ろう展	12/21～1/15	しめ縄など迎春のお飾りの展示	1,520 人
ペーパークラフト 「花」作品展	1/24～1/26	和紙で折った季節の花を使ったリースやスワ ッグ等の展示	373 人
鳥・とり・トリ展	1/28～2/3	野鳥パネルと上坂部西公園で四季折々撮影し た写真の展示会	753 人
市民の洋ラン展	2/7～2/9	尼崎洋ラン会会員が育てたランを展示	358 人
武庫川髭の渡しコス モス園フォトコンテ スト受賞作品展	2/15～2/24	武庫川髭の渡しコスモス園の写真を使ったフ ォトコンテストの受賞作品を展示	476 人

展 示 会 名	開催期間	内 容	来場数
クリスマスローズ展	2/27～3/2	原種と交配種のクリスマスローズを約 100 点 展示	436 人
あまがさき桜展	3/7～3/16	市内に咲くさまざまな桜の紹介写真の展示会	463 人
春の椿展	3/22～3/26	「椿」の切り花の展示会	431 人
受託事業 6 回 自主事業 22 回 合計 28 回 延べ開催日数 165 日 来場数 13,867 人			



(みどりの学校おさらい展)



(公園ボランティア紹介 WEEK 展)



(お正月を飾ろう展)

・イベントの開催

イベント名	開催期間	場 所	内 容	来場者数
武庫一寸ソラマメのふるまい	5/25	展示施設	上坂部西公園内で育てた伝統野菜である武庫一寸ソラマメの試食会	35 人
サガリバナの開花に伴う特別夜間開館	8/18	温室	夕暮れから咲きだし朝に散るサガリバナを鑑賞するため、温室を 20 時 30 分までオープン	30 人
みどりのみゅーじあむ ミニ夏まつり	8/24	展示施設	みどりの学校おさらい展開催に合わせて、子どもたちがお祭り気分楽しく遊びながら、自然に親しみを持ってもらうイベント	150 人
初笑い！似顔絵書初めコンテスト	1/4～1/10	展示施設	誰かを思い浮かべて似顔絵の書初め大人はアイマスをして、子どもはそのまま	52 名
ぜんざいのふるまい	1/11	展示施設	上坂部西公園内で育てたアズキを一部使って来園者へのふるまい	75 人
鳥・とり・トリ展 展示ガイド	2/2	展示施設	鳥・とり・トリ展の展示を動画などを交えて解説	10 人
節分こどもミニまつり	2/2	緑の相談所	節分に合わせて、鬼の的あてや植物で鬼の面	200 人
自主事業 7 回 延べ開催日数 13 日 来場数 552 人				



(みどりのみゅーじあむミニ夏まつり)



(初笑い！似顔絵書初めコンテスト)



(節分こどもミニまつり)

(6) 緑の相談業務

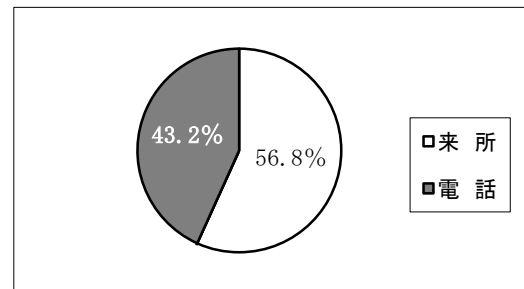
上坂部西公園緑の相談所において、当協会園芸相談員等の専門家を配し、緑化園芸相談を年間を通して実施した。相談にあたっては、相談者のレベルに応じたわかりやすい説明に留意するなど、多様なニーズに的確に応えるよう努めた。

① 相談所利用状況

来所・電話別

来 所	電 話	合 計
1,361 (人)	1,036 (人)	2,397 (人)
56.8%	43.2%	100%

※ 1人当たり複数の内容の相談を受ける場合があるため、年間の相談件数は4,097件にのぼる



② 主な相談内容

草花や野菜、果樹等の育成方法や樹木の手入れ、病虫害の防除、土づくり、植物の分類など多岐に亘り、ビギナーから上級者まで丁寧に対応した。

(7) 2024 あまがさきフラワーガーデニングコンテストの開催

市民の方々などが手掛けた自慢の花壇を、家庭・コミュニティ・学校緑化の3部門で募集して専門家が顕彰する当コンテストを本年度も実施し、まちの魅力を内外に発信するとともに、技術向上の一助とした。また、併せて、近年の住宅事情の変化により当コンテストの応募件数が伸び悩んでいることから、新たな部門の設置に向けた検証を行うため、近年人気の家の中やベランダなどのインドアグリーンを対象に、「家（うち）中（なか）緑（みどり）自慢写真」の応募を昨年度に引き続いて試行した。

- ・ 募集期間 令和6年5月1日（水）～11月30日（土）
- ・ 審査日 令和7年1月24日（金）
- ・ 応募総数 21件
- ・ 入賞花壇数 10件（家庭緑化部門2件、コミュニティ緑化部門2件、学校緑化部門2件、緑化公園協会特別賞4件）
- ・ 各部門の入賞花壇



（家庭緑化部門【最優秀】）（コミュニティ緑化部門【最優秀】）（学校緑化部門【最優秀】）

(8) ローズアマガサキ事業

新

園芸研究家の藤岡友宏氏が交配・作出し、市制 100 周年である 2016 年に新品種のバラ 10 種の中から市民投票により決定された尼崎市のオリジナルローズである「ローズアマガサキ 2016」を、各種講習会や公園内への掲示、HP での紹介などを通じて広く広報に努めると共に、薔薇マップ作成に伴い実施したスタンプラリーの賞品として、抽選で配布も行った。



(ローズアマガサキ 2016)

また、同バラの PR のため、新たに西武庫公園と蓬川緑地のバラ園に同バラを植栽した。

(9) 花・緑情報の発信

① 緑の相談所での情報発信

緑の相談所では、市民が花や緑について自由に学習及び情報収集ができるように、特に、ファミリー世帯をターゲットとした絵本や子ども向けの図書を増冊して、学べる空間を提供した。

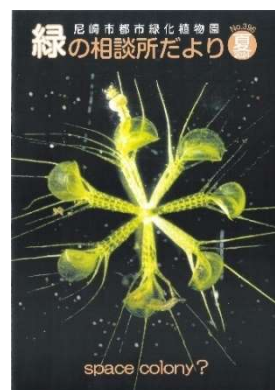


(学習空間の整備)

② 緑の相談所だよりの発行

年 4 回の四季発行で、季節ごとのトピックや催し等の広報を中心に、話題の植物や希少な植物の情報、ガーデニングのアドバイスなど、幅広く興味を持たれるような紙面構成を心掛け、読者層の拡大に努めた。

本年度は、「食虫植物」をテーマにして、春号から冬号までの全 4 回をその特性などを特集し、食虫植物の魅力を多くの市民に発信した。



(緑の相談所だより)

- ・発行部数 各号 3,000 部 (年間 12,000 部)
- ・主な配布先 本市緑の相談所、本庁、支所、公共施設、金融機関の待合等で市民配布。また学校、近隣市の緑の相談所、賛助会員及び花いっぱいの会々員に送付

③ パークフルを活用した公園情報の発信

公園検索アプリ「パークフル」に、市との役割分担のもと指定管理公園を除く 1ha 以上の 32 公園の情報を協会職員が投稿した。



④ ホームページによる情報発信

尼崎中高年事業(株) (以下「会社」という。)との統合を機にリニューアルしたホームページを活用して、市民が最も知りたい公園情報、ボランティア活動の募集案内、四季折々の植物紹介や開花情報、イベント情報や講習会・展示会の案内等のタイムリーな情報を提供した。



(当協会ホームページ)

・HPの発信回数とアクセス数

年度	R2	R3	R4	R5	R6
情報発信回数	92 回	288 回	484 回	551 回	540 回
HP 訪問数(アクセス数)	43,692 回	70,855 回	88,764 回	100,226 回	88,990 回

⑤ SNSを活用した情報発信

尼崎市と共同で運営しているフェイスブック「アマグリ」、新たな情報発信ツールとして立ち上げた協会公式Instagramや youtube を活用して公園での花や緑の見頃情報や、緑化行事の紹介などをリアルタイムで発信し、ネットワークでつながるユーザーや当協会事業への関わりが比較的少ない若者世代への情報提供を積極的に行った。



(FB (アマグリ))

・SNSの情報発信回数

F B 情報発信回数	226 回
Instagram 情報発信回数	227 回



(協会公式 Instagram)

⑥ 観光情報施設等からの情報発信

阪神尼崎駅前にある観光案内所(旧中央公園パークセンター)やJR尼崎駅構内にある観光案内コーナー、尼崎北郵便局などに公園パンフレットや緑の相談所だより等の印刷物を提供し、幅広い層に向けて緑化情報を発信した。



(あまがさき観光案内所)

⑦ 記念公園総合体育館への広告看板の掲示

体育館利用者等に対して、協会のPRと緑への興味をもってもらうため、6年度も引き続き、尼崎市記念公園ベイコム総合体育館に広告看板を掲示した。



(体育館に設置した広告看板)

⑧ バラ園サイン整備

会社との事業統合のシンボル事業として毎年、取り組んできたバラ園リニューアルプロジェクトにおいて、潮江公園、大井戸公園及び上坂部西公園の各バラ園で、品種ラベルの整備を行っており、本年度についても残りのバラ園での実施を検討したが、品種などの同定に時間を要することから、品種ラベルの整備は見送った。

(10) 園地維持管理業務

フィールド公園等の園地部分の清掃、除草、かん水をはじめとする保護育成、花壇の維持管理や流れ等の施設管理業務を実施することに加えて、見通し確保のための低木の切下げや高木の下枝剪定、危険木の剪定等を行った。

また農業公園のリニューアル工事に伴い不要となるハナショウブの譲渡を受け、近松公園のアヤメ園に移植を行った。



(公園外周の剪定作業)

(11) 施設管理業務

① 元浜緑地わんぱく池運営管理業務

コロナ禍のため、令和2・3年度には中止をし、4年度は人数制限の上での開園を経て、令和5年度から人数制限は行わず開園し、厳しい暑さも反映して多くの子どもたちで賑わった。

制限を無くして2年目となった6年度は、コロナ禍前を上回る利用者数となり、にぎわいが復活した。



(わんぱく池の様子)

・〔開園期間 6月2日(日)～9月1日(日)〕

開場日数	利用者数	1日平均利用者数	最高利用者数
77日	60,943人	728人	3,556人[7月21日(日)]

*臨時休園(3日)

・大雨による土砂流出により清掃 6月18日 ・台風10号接近のため 8月30・31日

② 元浜緑地駐車場管理運営業務

元浜緑地駐車場の管理運営業務を受託し、公園利用者の利便を図った。

開場日数	普通車入庫数	大型車入庫数	総入庫数	1日平均入庫数
359日	20,705台	56台	20,761台	57台

③ その他施設管理

上坂部西公園緑の相談所や元浜緑地管理棟の電気点検、消火器点検等の施設管理業務を法令等に基づき、適正に実施した。

一部の老朽化した設備については、不具合箇所を速やかに市に報告し、計画的な更新を要請した。

(12) 公園管理に関するその他の取り組み（循環型社会形成への貢献）

① 剪定枝等のリサイクル

当協会が所有する大型樹木粉碎機（ウッドチップパー）を活用して、剪定の際に発生する枝等を焼却処分せずチップ化して再利用する取り組みを行い、二酸化炭素排出量の抑制に努めた。

本年度も、尼崎の森中央緑地での管理作業において発生した剪定枝や間伐材を粉碎してウッドチップを作り出し、園路に敷き均したり、植栽苗木の足元に雑草抑制のためのマルチング材として敷き詰めるなどの有効活用を行った他、あまがさきグリーンフェスタなどの大規模イベントにおいて、来園者に無料で配布した。

また上坂部西公園では、公園内の落葉や木の実を使って自由に工作ができるクラフトブースの設置を試行的に行うなど、資源の循環に取り組んだ。



（樹木粉碎機（ウッドチップパー））



（グリーンフェスタでの無料配布）



（クラフトブース）

② マリーゴールドによる害虫駆除の取り組み

マリーゴールドは、畑や花壇の土にすき込むと土壌中の有害線虫を減らす効果があることから、花壇の植え替えて抜き取った株を市民の方々に利用方法を説明して配布し、農薬を用いない環境にやさしい害虫駆除方法を推奨した。



（花壇の植替えて抜き取ったマリーゴールド）

2 西武庫公園管理運営業務

(1) 西武庫公園の魅力向上の取り組み

公園内の自然を活用した緑化普及啓発や公園利用促進の取り組みを行った。

・西武庫公園での緑化普及啓発の取り組み

月 日	取組名称	参加者数	内 容
10 月 26 日	多肉植物の寄せ植え体験	42 名	多肉植物で寄せ植え作り（武庫まつり）
11 月 17 日	公園で健康ウォーキング	14 名	公園を活用して正しい歩き方を修得
計	2 回	56 名	



（多肉植物の寄せ植え体験）



（公園で健康ウォーキング）

(2) ボランティアとの協働の取り組み

花づくりボランティア「西武庫公園フェアリーズ」との協働作業として、種から苗を育てて園内の花壇に植栽する取り組みを行った。

・登録人数 3 名

・定例活動日 毎週土曜日

（上記以外にも日常的に作業を実施）

・活動内容 公園ボランティア「西武庫公園フェアリーズ」の方々と協働で、園内に設置してあるビニールハウスで花苗を生産し、公園内の花壇に植栽して管理を行った他、園内の施設の装飾なども手掛けるなど、公園の美化に努めた。



（花壇の除草作業）

(3) ネットワーク会議の事務局

西武庫公園では、園内施設の「ゆめハウス」を拠点に様々な市民ボランティア等が活動しており、当協会では、それらの団体等が横の連携を図り、活動規模の拡大や利用者主体のルールづくりなどを行うことを目的として設置した「西武庫公園ネットワーク会議」の事務局を務めている。6 年度の取組としては、年 3 回会議を行い、各団体の活動報告やネットワーク会議が主催する公園での催しの実施に向けた企画・調整等を行うとともに、3 月 1 日の土曜日に子ども達が「自ら遊ぶ」体験の場をコンセプトに、各団体との協働で行うイベント「冒険広場がやってきた！」を開催し、滑車すべり、マシュマロ焼き体験、むかし遊び、やきいも、ゴーカートによる交通教室などの催しを実施し、約 700 名の親子の参加があった。



(ネットワーク会議の様子)



(冒険広場 (むかし遊び))



(冒険広場 (ゴーカート))

(4) あまがさき健康ファームの取り組み

園内の分区園奥の未利用地を活用し、市の健康支援推進担当とタイアップして「あまがさき健康ファーム」の取組みを行った。この事業は、市の特定検診で物忘れチェックを受診された方を対象に、農作業による認知症予防を目的として農地を有償で提供するもので、平成 29 年度の事業開始以来利用可能な 14 区画が常に充足された状態で運営されている。また、利用者に対する付加価値として、緑の相談所の園芸相談員が年間 10 回の農作物栽培等の講習を実施している。



(農園栽培講習会)

・農園栽培講習参加者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	6	4	3	—	6	5	4	3	3	2	—	2	38

(5) 園地の保護育成と施設の管理

老朽化し、枯れ枝が目立っていた園内のサクラを一斉に手入れすると共に、新たにサクラを 2 本植栽するなど、利用者の安全・安心につながる適正な公園管理に努めた。また、西武庫公園駐車場の管理運営業務を受託し、利用者の利便性向上に努めた。

・西武庫公園駐車場利用状況

開場日数	普通車入庫数	大型車入庫数	総入庫数	1 日平均入庫数
365 日	39,482 台	6 台	39,488 台	108 台

3 尼崎の森中央緑地運営管理業務

兵庫県園芸・公園協会、阪神園芸(株)との三者共同体での指定管理（５年間）の４年目にあたる当業務については、引き続き環境学習の各種プログラム実施や森づくり活動の支援、緑地及び施設の維持管理等を担当し、加えて各種集客イベントにおいても十分な協力体制を敷いて取り組むなど、緑地の美化と事業目的達成に努めた。本年度も高いハードルが設定されている来園者目標数（30万人）を達成するため、主催行事や持ち込みイベントの誘致などの催しを多数計画し実施した。近隣に民家が無い立地の特性と認知度の低さから平成27年度の指定管理者制度導入後一定期間は来園者数が低迷していたが、令和３年度の約27万人以降安定した来園者数が続いており、令和６年度は282,990人の来園があった。

また、市報への記事掲載や、各種ホームページ、SNSを活用した催し等のPR、緑の相談所をはじめとする各施設でのチラシ等の配布や掲示など、尼崎の森中央緑地の認知度を一層向上させるための各種情報発信にも注力した。

・年度ごとの来園者数

〔単位；人〕

年度	平 28	平 29	平 30	令元	令 2	令 3	令 4	令 5	令 6
人数	105,000	110,950	188,800	248,810	249,420	268,870	290,110	281,050	282,990

・魅力アップ事業（県市共同事業）の開催状況

事業名称	内 容	参加者数等
環境体験事業（県事業）	県内の小学校児童を対象にした環境学習	1,497 人
環境体験事業（尼森独自事業）	幼稚園等上記以外の園児、生徒を対象	1,179 人
環境体験プログラム 1	季節ごとに異なる自然環境を楽しく学ぶ	269 人
環境体験プログラム 2	一般来園者がいつでも気軽に体験	2,788 人
環境体験プログラム 3	自然に関するより詳しい知識を学ぶ	79 人
尼崎の森ファミリークラブ	本市及び近隣市の小 1 を対象にした植樹	155 人
昆虫採取イベント	当緑地に生息する昆虫を捕獲し観察する	1,500 人
森の子育てひろば	阪神間の親子が自然を体感する	68 人
環境学習サポーター養成講座	環境体験をサポートするボランティア養成	70 人
生物多様性促進イベント	森づくりを広く PR するイベント	861 人
自由提案イベント	大芝生広場等を活用した大規模集客イベント	2,200 人



（環境体験事業）



（環境体験プログラム）



（昆虫採取イベント）

・利用促進事業（県事業）の開催状況

事業名称	内 容	参加者数等
持込み企画誘致・サポート事業	大芝生広場でダンスや音楽イベントの誘致	10,600 人
食のイベント推進プロジェクト	阪神間の飲食店等による食がテーマのイベント	11,300 人
茅葺き民家活用プロジェクト	民家や森を使って里山の暮らしを体験	1,405 人
ひょうごヘルシーパークプロジェクト	ウォーキングやヨガ等の健康づくり	24 人
運動会等開催サポート	近隣企業等の運動会等の開催をサポート	— (※)
子育て交流スペース設置・運営	子育て情報コーナーや交流スペース	939 人
夏休み自由研究サポートプログラム	緑地の自然素材を活かしたワークショップ	78 人
乳幼児支援の展開	屋外スペース等を貸出、安心して遊べる場の提供	— (※)
森から学ぶ幼児教育プログラム	親子で一緒に楽しめるプログラム	324 人
森のお道具箱	間伐材等のクラフト材料を貸し出し	612 人
元プロ野球選手から学ぶ3世代交流スポーツ教室	阪神南青少年本部と共催し忍者教室	26 人
生物多様性あまもり戦略 2019 の推進	各活動・催しに当計画を組み込み	— (※)
生物多様性普及啓発プロジェクト	地域制苗の活用及び普及啓発	1,360 人
ボランティア活動団体支援プロジェクト	アマフォレストの会と連携し種子採取など	39 人
森のセルフガイド推進プロジェクト	指導者なしで学習・体験できるセルフガイド	360 人
郷土種グリーンフェスタ	郷土種を使った体験プログラム	1,500 人
尼森防災プロジェクト	県・市と連携した防災イベントや訓練	3,400 人
安心安全プロジェクト	危機管理マニュアルに基づく避難訓練など	— (※)
みんなにやさしい公園づくりプロジェクト	HP に園内バリアフリーの掲載や園内看板の整備	— (※)
アクセス向上社会実験プロジェクト	バスや自転車でアクセス向上の社会実験	— (※)
会議室セットプランサービス	環境学習教材とセットで会議室を提供	広報するも 0 人
あまもりフェノロジーカレンダー	公園の草花等のカレンダー等を作成	— (※)
1000ha 連携プロジェクト	1000ha エリア内の企業、運河関係団体と連携	427 人
学生との連携プロジェクト	近隣の大学との連携による緑地の活性化	382 人
森の会議発案企画サポート	オリジナルの競技を楽しむ運動会など	荒天中止 0 人
森の文化祭	近隣地域への PR を目的にしたイベント	2,000 人
夜の公園活用プログラム	星空観望会など	150 人
DYI 技術向上プログラム	各ボランティア園内整備の技術向上	8 人
尼崎の森中央緑地ガイドツアー	職員と緑地内を巡るガイドツアー	149 人
公園活用プロジェクト	通常禁止されている公園利用をイベントとして行う	84 人
インスタ映えスポット紹介・写真コンテスト	写真コンテストの開催など	— (※)
親子で運動を楽しむプログラム	サッカー教室などスポーツプログラム	56 人
新たな公園の管理運営について	公園内での「ひょうごスタイル」推進など	— (※)

※印については、スペースの貸出しや自由利用等の事業ため参加者数のカウント未実施



(食のイベント推進プロジェクト)



(尼森防災プロジェクト)



(夜の公園活用プロジェクト)

4 緑地・緑道等の保護育成業務

見

市内の公園や緑地緑道、街園、植樹帯など 402 カ所の樹木剪定、生垣剪定、芝刈、除草等の維持管理を持ち前の機動力を活かして適切に実施した。

また公益目的事業として潮江公園でのバラ散策会や緑地緑道での市民との協働によるチューリップ運動の球根の植付けなど緑化啓発事業を実施し、花や緑に親しむ人のすそ野の拡大に取り組んだ。

・管理対象

公園・子ども広場	239 カ所
緑地緑道	56 カ所
街園・植樹帯	107 カ所
計	402 カ所

・緑地緑道での緑化普及啓発の取り組み

月 日	場 所	取組名称	参加者数	内 容
5 月 11 日	潮江公園	季節の花散策～バラ～	45 名	見ごろのバラをガイド付きで見学
11 月 21 日	阪神センター前駅北広場	チューリップ運動球根植付	19 名	市民との協働でチューリップの球根 1,000 球を植付
12 月 9 日	大物川緑地	チューリップ運動球根植付	4 名	チューリップの球根 1,000 球を植付
12 月 11 日	阪急武庫之荘駅南広場（噴水周辺）	チューリップ運動球根植付	14 名	市民との協働でチューリップの球根 1,100 球を植付
12 月 11 日	阪急武庫之荘駅北広場	チューリップ運動球根植付	16 名	市民との協働でチューリップの球根 1,600 球を植付
12 月 11 日	北雁替公園	チューリップ運動球根植付	13 名	市民との協働でチューリップの球根 400 球を植付
12 月 11 日	阪急塚口駅前広場	チューリップ運動球根植付	9 名	市民との協働でチューリップの球根 1,000 球を植付
12 月 18 日	JR 立花駅南広場	チューリップ運動球根植付	5 名	チューリップの球根 1,000 球を植付



(潮江バラ散策会)



(北雁替チューリップ球根植付け)



(阪急武庫之荘駅南広場
チューリップ球根植付け)

5 尼崎市との災害協定に基づく倒木処理業務

尼崎市との間で令和5年4月1日付で締結した「災害等における応急対策業務に関する協定」に基づき、今年度も「防災・災害マニュアル」を更新し、非常時の備えを整えたが、幸いなことに特に大きな災害が発生しなかったため、出動実績は無かった。

6 あまがさき薔薇マッププロモーション業務



緑の情報発信の一環として、昨年度の「あまがさき桜マップ」に続いて、令和6年3月に完成した協会オリジナル冊子、「あまがさき薔薇（ばら）マップ～自分好みのバラを探してみませんか～」を広く配布するため、各種媒体による広報を行うと共に「もじあつめスタンプラリー」と題して市内7ヵ所のバラ園を巡ってクイズに答える催しや、バラが最も綺麗に咲く5月にバラ散策イベントを開催するなど、あまがさきのバラ園の魅力を広く市民に発信した。

なお、新規事業として実施したスタンプラリーは、正解者に抽選で「ローズアマガサキ2016」の苗木をプレゼントする企画で、応募者から多数のコメントが寄せられ、大きな反響があった。



(応募者から寄せられた
コメントの数々)

7 ファミリーフェスタの開催

秋の恒例行事として継続して実施している「ファミリーフェスタ」を尼崎の森中央緑地で開催した。この催しは、広大な大芝生広場を会場として、「郷土種グリーンフェスタ」との2催事合同での取り組みで、森づくり活動をおこなっている企業や学校等の出展やステージイベント、ワークショップなど、多数の家族連れが訪れる中、当協会が執り行うファミリーフェスタでは、ゴーカートやはたらく車の展示など、子ども向けに各種遊びのコーナーを提供した。

- ・開催日 10月20日（日）
- ・場所 尼崎の森中央緑地・大芝生広場
- ・参加者数 4,300人（2つの催事のトータル数）
- ・内容 ゴーカートで遊ぼう、竹馬や竹コップリなどの昔あそび体験 等



(はたらく車の展示)



(昔あそび体験)



(足こぎゴーカート)

8 尼崎市民農園の運営管理

本年度も農園主から市民農園の管理業務を受託して実施した。市農政課から農園管理を引き継ぎ、協会独自事業として農園の巡回点検や利用指導の他、年10回の市民農園教室開催などに取り組んだ。

・各年度の管理農園及び区画数の状況

年 度	管理農園数	管理区画数	年 度	管理農園数	管理区画数
H25 年度	4	312	R 元年度	18	964
H26 年度	8	498	R2 年度	19	997
H27 年度	12	747	R3 年度	19	994
H28 年度	16	887	R4 年度	19	907
H29 年度	17	914	R5 年度	18	794
H30 年度	17	911	R6 年度	19	807

・農園教室の開催状況（概ね農園ごとに開催）

月	開催日	開催回数	テーマ	参加者数
4 月	13, 18, 21, 28 日	19 回	ナス・トマト・キュウリの初期管理	110 名
5 月	15, 23, 25 日	19 回	夏野菜の中間管理	104 名
6 月	14, 19, 23, 27 日	19 回	梅雨、真夏時の栽培管理	99 名
7 月	27, 28 日	4 回	秋向け野菜のオススメ品種と栽培のポイント	51 名
9 月	14, 15, 21, 25 日	19 回	秋冬野菜の栽培ポイント	54 名
10 月	13, 17, 26, 27 日	19 回	タマネギ、ソラマメ、エンドウ	92 名
11 月	13, 16, 20, 24 日	19 回	野菜の保温栽培と連作障害回避	67 名
12 月	11, 12, 18, 22 日	19 回	作物の輪作と今後の作付けについて	66 名
1 月	30, 31 日	4 回	タキイ種苗の春夏野菜栽培マニュアル	37 名
3 月	15, 18, 21 日	14 回	夏野菜の準備	53 名
合計	34 日間	155 回	計 733 名	



（農 園 教 室 の 様 子）

Ⅱ 公益2事業〔定款事業(2)〕

(市民ボランティアグループ及び市民運動として展開している花のまちづくりの協働推進事業)

1 花と緑のまちづくり推進事業

(1) 街なみ街かど花づくり運動業務

本年度も引き続き市民ボランティアの花の世話役さんで組織する「尼崎花のまち委員会」の事務局を務め、市民自らの手で花を育てて街を飾ることにより、美しい街なみ景観の向上を図る「街なみ街かど花づくり運動」を推進した。



(圃場での種まき)



(総会の様子)

・ガーデニング教室の開催状況

講習会名／月日	6/10	7/1	9/2	10/21	11/11	12/2	修了レポート	修了者
花のガーデニング教室基礎コース	9名	10名	9名	6名	9名	9名	6名	6名

講習会名／月日	6/4	6/25	7/2	9/3	11/12	12/3	修了レポート	修了者
花のガーデニング教室応用コース	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名

・会員数 (令和6年度末現在)

ボランティア区分	グループ数	人数
花の世話役さん(市民ボランティア)	110グループ	426名

※ 市民ボランティアの個人会員 10名を含む

公共施設も当運動の対象であるため、市職員等がボランティアで行う花づくりの取組についてもしっかりとサポートした。

・会員数 (令和6年度末現在)

ボランティア区分	グループ数	人数
公共施設の花づくり(市・団体職員等ボランティア)	53グループ	158名

(2) 花のまちあまがさきチューリップ運動業務

① チューリップ運動の推進

子どもからお年寄りまで幅広く親しまれているチューリップを、市民・事業者・行政が協働で身近な場所に咲かせることにより、「花のまち尼崎」のイメージを内外に発信することを目的に市民運動として取組んでいるチューリップ運動の事務局として、運動の推進に鋭意努めた。

市民まつりや農業祭などの出店販売では、「百合咲き」や「八重咲き」「フリンジ咲き」などの変わり咲きチューリップの割合を大幅に増やし、球根普及総数の増加に取り組んだが、仕入単価の大幅な上昇により販売価格を値上げしたため、前年より約1万1千球減の約7万5千球の普及総数にとどまった。

一方、企業や団体からの寄付を活用して駅前等を彩る市民大型花壇では、寄付者や市民ボランティアなどの協力を得て、例年並の春のチューリップ開花を維持した。



(JR 尼崎駅北緑道での植付け)



(市民まつりでの球根販売)



(JR 尼崎駅南ロータリーの開花状況)

Ⅲ 公益3事業【定款事業(3)】

(尼崎市緑化基金を活用した緑の保全及び緑化催事開催による普及啓発事業)

1 あまがさきグリーンフェスタ2024の開催

春の恒例行事である「あまがさきグリーンフェスタ 2024」は、市民が緑化に興味を持ってもらい、関わってもらい、実践してもらうきっかけづくりに重点を置いた「体験・参加型のイベント」として開催した。当日は、ファミリー世帯を対象とした寄せ植えや公園内の樹木ラリー、兵庫県立人と自然の博物館の移動博物館車「ゆめはく号」での植物の化石や昆虫の展示など、子育て世代の緑や自然とのふれあいに寄与する内容を中心に開催した他、多くの緑化関連団体の出店等により、約4,800人の来園があった。

またイベント内で“2023 フラワーガーデニングコンテスト”の表彰式を行い、「家庭緑化」、「コミュニティ緑化」、「学校緑化」各部門の入賞者10点(個人・団体)を表彰した。



(フラワーガーデニングコンテスト表彰式)



(ゆめはく号の展示)



(多肉植物の寄せ植え)

2 屋外展示会共催事業（尼崎城址公園多目的広場及び上坂部西公園芝生広場内）

見

伝統園芸の深みと趣きのある作品を紹介して愛好家を楽しませるとともに、新たな層にも関心を持ってもらうことを目的に開催しているさつき展と菊花展については、これまでの開催場所である阪神尼崎駅前広場から、令和5年度に尼崎城址公園の多目的広場に変更したが、集客に難点があることから、令和6年度秋に開催した菊花展から上坂部西公園の芝生広場に会場を移して開催し、菊のフラワーアレンジメントや出展団体による菊ガイドも実施した。

名 称	開催期間	日数	内 容	入場者数	場 所
さつき展	5/18～5/26	9 日	皐月盆栽など約 100 鉢を出品展示	1, 148 人	城址公園
菊 花 展	11/3～11/16	14 日	大菊 3 本立てなど約 250 点を出品展示	3, 243 人	上坂部西公園



（さつき展）



（菊花展）

3 民有地緑化推進事業

(1) 生垣等設置助成事業

緑視率を高めることによるまちなみ景観の美化と防災効果のため、ブロック塀を生垣に作り替えたり、生垣を新設する経費の一部を助成する事業だが、本年度は申請がなかった。

年 度	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
助成件数	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0

(2) 保護樹木等の助成事業

尼崎市が指定した保護樹木等（単木 63 本・樹林 47 箇所）の内、保護養生に要する経費を所有者等に助成する形で支援を行う事業で、本年度は 3 件の助成を行った。

また申請者の利便性を高めるために、申請方法の見直しを行った。

- ・ 指定基準…単木：地上高 1.5m での幹周 1m 以上、樹高 10m 以上
樹林：保護樹木を含む面積が 300 m² 以上

種類/地区	中 央	小 田	大 庄	立 花	武 庫	園 田	計
樹 木	6 本	17 本	6 本	7 本	10 本	17 本	63 本
樹 林	3 カ所 9,920 m ²	11 カ所 15,155 m ²	2 カ所 6,879 m ²	8 カ所 16,629 m ²	11 カ所 12,382 m ²	12 カ所 20,563 m ²	47 カ所 81,528 m ²

- ・ 本年度助成内容 剪定 3 件
- ・ 助成額 871,089 円

◆ 収益等事業

I 収益1事業 【定款事業(4)】

1 花・植木等販売事業

緑の相談所での園芸相談や市民農園での栽培教室実施時などに、作業に必要な薬剤や肥料等を助言・指導を交えて行うコンサルティング販売をしたほか、「花のまちあまがさきチューリップ運動」の一環としてのチューリップ球根販売など、市民運動や環境緑化の取り組みに寄与する事業を行った。また、クリスマスの時期にシクラメンやポインセチアを販売するなど例年人気の高い植物をピックアップしての販売事業も実施した。更に、学校等への年2回の通信販売「春季及び秋季の特別販売」や、学校行事の装飾等で使用する鉢花等の注文販売を本年度も引き続き実施し、売上げの増加と自主財源の確保に努めた。

なお、緑の相談所でのコンサルティング販売では、6年度から電子地域通貨「あま咲きコイン」を利用した購入もできるように加盟登録した。

販売種別		売 上	摘 要
コンサルティング販売		233,915 円	緑の相談所・市民農園等
チューリップ運動球根販売	窓口販売	1,565,200 円	緑の相談所・本庁舎・生涯学習プラザ等
	受注販売	212,450 円	
	催事販売	379,450 円	市民まつり・農業祭他
受注販売		36,091 円	学校、賛助会員等
通信販売	春季特別販売	1,098,680 円	トマト、ナス等夏野菜・花苗、用土他
	秋季特別販売	1,626,543 円	花苗、用土・秋植え球根他
合 計		5,152,329 円	

II 収益2事業 【定款事業(4)】

1 道路植樹帯等の保護育成業務

市内一円の道路植樹帯等 190 路線の樹木剪定、芝生管理、清掃、除草、花壇管理等の業務を尼崎市から受託し、尼崎中高年(株)時代からの強みである機動力を駆使して適正かつ効率的に維持管理を行い、街の美化と協会の収益確保に努めた。



(道路植樹帯の剪定業務)

2 民間団体等からの受託業務

企業や工場、集合住宅及び個人邸などの剪定、除草、病虫害防除などの業務を多数請け負い、リーズナブルで良質な維持管理により顧客満足度向上に努め、リピーターを確保して自主財源の増加を図った。

- ・取引先 (株)東急コミュニティー、日本管財(株)
(株)ウォーターエージェンシー、日油(株) 等 186 件



(民間の剪定作業)

Ⅱ その他1事業〔定款事業(4)〕

1 オリジナルカレンダーの制作

毎年、テーマを決めて制作しているオリジナルカレンダーを、今年度は「あまがさき花ごよみ」と題して、市内に咲く様々な花に焦点をあて、毎月見頃の花やそれを観賞できる公園などを図や写真で紹介する内容で作成し広く市民等は無償配布した。



(カレンダー)

- ・作成仕様 A4 版中綴じ（開くと A3）14 枚綴りフルカラー
- ・作成部数 2,000 部

2 賛助会員の確保

当協会の緑化普及活動の趣旨に賛同し、緑あふれるまちづくりに協力いただく会員の確保に取り組み、緑化普及啓発の輪の拡大に努めた。

会費は 1 口 3,000 円で、会員に対しては、年 1 回シクラメンの鉢花を口数に応じてプレゼントし、加えて緑の相談所だよりを毎号送付する特典を提供している。

- ・過去 5 年間の会員数

年 度	会員数	口 数
令和 2 年度	148 件	266 口
令和 3 年度	134 件	238 口
令和 4 年度	144 件	266 口
令和 5 年度	141 件	253 口
令和 6 年度	153 件	283 口

3 県民まちなみ緑化事業等申請窓口業務

兵庫県が「緑」の保全、再生を目的として導入した「県民緑税」を活用して実施している「県民まちなみ緑化事業」や阪神北県民局が実施する「緑化資材の提供事業」などの各種緑化事業の申請窓口業務を受託し、広報や申請の受付指導、文書審査、委託者への進達などを行った。

事業名称	内 容	取扱件数
緑化資材の提供事業	緑化活動グループ(自治会等)への緑化資材の提供	8 件
県民まちなみ緑化事業	屋上や壁面緑化、校園庭芝生化等緑化事業費の補助	2 件

4 緑化協力団体の育成事業

伝統園芸の保護・継承や、草花等によるまちの美化など、緑化の普及啓発に携わっている団体の活動援助、会員確保・増加の取り組みのサポートのほか、展示会開催にあたり支援するなど、指導、育成と連携を図った。

・緑化協力団体等関連団体一覧

団 体 名		
尼 崎 市 菊 花 協 会	尼 崎 洋 ラ ン 会	尼 崎 皐 月 協 会
尼崎小品盆栽山草会	尼崎市花いっぱい会	



(尼崎小品盆栽山草会による展示)



(尼崎洋ラン会による展示)

5 緑の募金の実施

(公社)兵庫県緑化推進協会が実施する「緑の募金」を、募金箱の設置や幼稚園、小、中、高等学校、事業所、市民及び市職員等を対象に募り、募金された方には緑の羽根を配付した。

なお、緑の募金については緑化推進協会が実施する「森と緑のふれあい支援事業」の原資として様々な緑化普及事業に活用されている。

・緑の募金額 77,897 円

6 職員のスキルアップ・能力開発

本年度も引き続き、新規採用作業員等に対して計画的に安全教育を受講させ、作業者のスキルアップと労働災害防止に努めた他、各種セミナー・シンポジウムへの参加により、最新の都市緑化の傾向を学ばせた。

また、7年度からの公益法人会計基準の大幅な見直しに対応するため、事務系職員を公益法人会計セミナーに複数回参加させるなど、幅広く職員の資質向上と職務の適正な履行に努めた。

・令和6年度の資格取得等状況

講 習 名	受講者数
刈払機取扱作業員安全衛生教育	3名
高所作業車運転技能講習	1名

Ⅲ 理事会、評議員会の開催

理事会・評議員会を定期的に行い、事業計画・予算、事業報告・決算などの重要事項を審議・承認いただいた。

また、6年度は役員・評議員の改選年度にあたるため、新たな役員及び評議員選任の決議を図り、選任された理事の中から新たな理事長及び常務理事を、決議の省略によるみなし開催で選定した。

・理事会、評議員会の開催実績

会議名称	開催日	場 所	議案等
第1回理事会	6月11日(火)	本部事務所会議室	5年度事業報告・決算他
定時評議員会	6月28日(金)	本部事務所会議室	5年度事業報告・決算 役員及び評議員の選任 他
第2回理事会 (決議の省略によるみなし開催)	6月28日(金)	—	理事長及び常務理事の選定
第3回理事会	3月25日(火)	本部事務所会議室	7年度事業計画・予算 7年度重点課題事項 他